



歩こう 葦崎!

～大村智博士が称賛する郷里の展望を楽しむ～

武田の里ウォークを開催!



歩いて 葦崎の魅力を堪能

4月8日(土)、昨年に葦崎市内を歩くコースへとリニューアルしてから2回目となるウォーキングイベント、武田の里ウォークが開催され、当日は、生憎の雨という悪天候にも関わらず、昨年を越える約千名の方が参加しました。今回の武田の里ウォークは「大村智博士が称賛する郷里の展望を楽しむ」というテーマにちなみ、大村先生を育んだ葦崎の自然・風景・文化を体感できるウォーキングイベント

歩いて 健康な体を作ろう

自身の体のために、運動を始めようと思っても、なかなか実行できない、始めても続かないという方も多いことでしょう。運動が体に良いとわかっていても、辛いことから逃げてしまうのも人間の弱さです。長続きさせるコツは、軽い適度な運動を自身のペースに合わせて、楽しく行うことです。市では、こうした方々に、少しでも体を動かす機会に提供してもらうために、運動の中

で初心者でも気軽に行うことができる「歩く」をテーマとした健康事業として、様々なウォーキングイベントを開催しています。そのひとつとして武田の里ウォークを実施していますが、秋には穂坂ぶどう郷の展望を楽しみながら歩く「武田の里ウォーク」穂坂ぶどう郷コース」を開催します。健康のために運動を始めた」と考えている方に、積極的に健康ウォーキング事業に参加していただき、いつまでも元気に暮らせるよう健康寿命の延伸に努めてみませんか。

ントです。コースは8キロ・24キロ・48キロの3つのコースを用意し、子どもから大人まで、自身の経験や体力に合わせて参加でき、参加された皆さんは、葦崎の春を満喫しながら一歩一歩踏みしめながら、ウォーキングを楽しんでいました。また、昨年の12月に幸福の小径に建立した大村先生の銅像の前を通るコースもあり、銅像の前で写真を撮る参加者も多く見られました。



▲ゴールまであとちょっと！
勤労青年センターの桜を眺めながらウォーキング！



▲コースをはずれ「わに塚のサクラ」を近くまで見に行く参加者の姿もありました。

地域でのおもてなし

市内各地区では、ウォーキング参加者に対して、地元の方々が特産品などを振舞いながらもてなす様子も見られました。清哲町の中谷農地管理組合では、地元の「中谷米」を使用したおにぎりなどを振る舞い、市外からの参加者へ地元特産品PR活動も行っていました。

自然や風景を楽しむだけでなく、地元の方々と交流という魅力が詰まったウォーキング大会となりました。



信玄公祭りコラボ

4月8日は、県下最大級のイベントである信玄公祭りも開催され、大将は三井金属アクト㈱の城宝賢二さん、副将は、同社の猪又眞一さん、武者は三井金属鋳業グループの皆さんが扮した「甘利備前守虎泰隊」が参加しました。

萑崎駅前で行われた出陣式の前に、甲州軍団が新府共選場に登場し、「エイエイオー!!」と勝どきを上げて、ウォーキング参加者を応援していました。

雨…！皆さん来てくれるかな？こんな心配で始まった一日。でも、48キロコースの受付と同時にこの心配は解消されました。

次に心配したのが、コース表示が雨で消されていないか。しかし、これも夜中にライン引きを持って全コースを点検した担当者、出発一時間前に点検のため出掛けてくれた担当者の努力により解消されました。多くの皆様をお迎えして行う事業は、100パーセントの満足を頂く事は難しい事ではありますが、私たちはそれに向かってこれからも努力したいと思います。この一日、萑崎市内がウォーキングを楽しむ人たちでいっぱいになり、いたる所で市民との交流が生まれる。こんな風景ができたらほんとうに素晴らしいと思います。

ご参加頂いた皆様、ほんとうにありがとうございます。



萑崎市スポーツ推進委員会
会長 金丸光太郎さん